

— 技術管理者CPDS認定 —

平成27年度「廃棄物処理施設技術管理セミナー」講演資料

当協会所属会員各位は、下記プログラム上の講演テーマをクリックすると各講演資料がご覧いただけます。

- ・ 閲覧には当協会ホームページ「会員のページ」用のパスワードが必要です。
- ・ パスワードがご不明の会員は、[「お問い合わせフォーム」](#)に必要事項を記入の上、送信してください。確認後、パスワードをお送りいたします。（なお、返信は土日祝日を除く、平日の業務時間内中に限りますのでご了承ください）
- ・ [入会をご検討・ご希望のかたはこちらから](#)

☆プログラム：

● [講演1「大規模災害時における廃棄物対策と施設整備について」](#)

[環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 大嶋 恭子](#)

わが国では多くの自然災害が発生しており、平成23年3月11日に発生した東日本大震災においても甚大な被害が生じ、約3千万トンもの災害廃棄物が発生した。今後発生が想定されている南海トラフ地震や首都直下地震においても、東日本大震災の5倍以上の災害廃棄物が発生すると推定されている。

東日本大震災等の教訓を踏まえると、これらの大規模な災害が発生した場合に生じる膨大な量の災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するためには、オールジャパンでの対応が必要であり、平時からの備えとして、廃棄物処理施設における防災対策をはじめとして、あらかじめ災害時における廃棄物処理体制を準備しておくことが重要である。

● [講演2「廃棄物処理施設の強靱化の計画・実施例」](#)

[一般社団法人日本環境衛生施設工業会 技術委員会 近藤 守](#)

東日本大震災以降、廃棄物処理施設を地域の防災拠点として、災害時に公共施設や避難所等に電気や水を供給できるインフラとして位置づけられている。

本稿では、ごみ焼却施設が防災拠点となるための条件や実施事例について紹介する。

● [講演3（愛知会場）「産廃処理業の課題と資源循環にむけての今後」](#)

[公益社団法人全国産業廃棄物連合会 専務理事 森谷 賢](#)

産業廃棄物業界は、廃棄物から資源やエネルギーを創り出す産業に移行しつつある。当業界には、長期・短期の多くの課題や挑戦がある。低炭素社会への対応、安全衛生の改善、災害廃棄物の制度への関わり、水俣条約の国内措置への対応、廃棄物処理法の点検見直し、などである。本講演では、これらを解説し、資源循環に取組む業界の振興策についても報

告する。

● 講演3 (東京会場)「産業廃棄物処理施設の債務保証について」

公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 業務部長 山下 新介

特定施設整備法第16条に基づく指定法人として設立された産業廃棄物処理事業振興財団の基幹的業務の一つである債務保証事業の内容・しくみについて解説するとともに、これまでの債務保証の実績を報告する。また、金融機関が債務保証を求める理由について言及し、債務保証の可否を決定する審査体制、主な審査項目について概説する。

● 講演4「バイオマス発電の現状と課題」

株式会社タクマ 企画・開発センター東京技術企画部長 宇野 晋

2012年7月に施行された固定価格買取制度(FIT制度)により増加しているバイオマス発電施設は、民間事業ということもありその詳細な仕様は公開されていない。そこで、木質バイオマスの成分やボイラの蒸気条件、発電効率など基礎的な情報と共に、政策的な背景や今後の展望、課題について報告する。

● 講演5「リサイクルビジネスの最前線」

一般社団法人資源循環ネットワーク 代表理事 林 孝昌

- ・著書等：
環境首都 北九州市一緑の町を蘇らせた実践対策（共著、日刊工業新聞社）
環境ビジネスのいま（共著、NTT出版）
環境新聞ブックレット リサイクルビジネス講座（環境新聞社）
「ボーダレス化」するリサイクルビジネス（環境新聞社）
環境新聞にてコラム連載中 など多数
- ・講演等：
早稲田大学ネオ・ロジスティクス共同研究会（2014.11 早稲田大学）
（最近）SUREコンソーシアム設立記念シンポジウム（2014.12 産業技術総合研究所）
川崎国際環境技術展2015（2015.2 川崎市）
やまぐちエコ市場環境セミナー（2015.6 やまぐちエコ市場）
エコテクノ2015（2015.10 福岡県リサイクル総合研究事業化センター）
など多数
- ・職務経歴：米国コーネル大学修士課程修了後、(株)地域計画建築研究所にて、主に自治体の廃棄物及び環境関連業務のコンサルタントとして、廃棄物関連計画の策定業務、調査・研究業務に3年間従事。
2000年から(株)NTTデータ経営研究所に入社し、主に環境省・経済産業省のFS調査事業、補助事業などにおけるコンサルティング業務に15年間従事し、経済産業省の調査事業を契機に(一社)資源循環ネットワークを設立。
2013年から資源循環ネットワーク代表理事に就任し、大手産業廃棄物処理事業者の営業支援、新規事業立ち上げに関する顧問業務などに従事し、現在に到る。

当セミナーを受講されたCPDS※登録者が、この記録をつける際には、下記を参照ください。

時間	講演等の内容	CPD 単位	CPD 分野※
9:30	受付		
10:00	講演1「大規模災害発生時における廃棄物対策と施設整備について」 環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課	2	H
11:00	講演2「廃棄物処理施設の強靱化の計画・実施例」 (一社)日本環境衛生施設工業会 技術委員会	2	H または I
12:00	休憩		
13:00	愛知会場 講演3「産業廃棄物処理業の課題と今後」 (公社)全国産業廃棄物連合会 専務理事 森谷 賢	2	D
	東京会場 講演3「産業廃棄物処理施設の債務保証について」 (公財)産業廃棄物処理事業振興財団 業務部長 山下 新介	2	M
14:00	講演4「バイオマス発電の現状と課題」 (株)タクマ 企画・開発センター 東京技術企画部長 宇野 晋	2	J
15:00	休憩		
15:10	講演5「リサイクルビジネスの最前線」 (一社)資源循環ネットワーク 代表理事 林 孝昌	2	D
16:10	終了		

※ CPD 分野を一例として示しました。受講者が CPD 分野を適宜判断して差し支えありません

※CPD とは、「Continuing Professional Development」の略称で、継続学習、継続研鑽、継続職能教育、継続的専門能力開発あるいは継続職能開発などと略されます。詳細はホームページをご参照ください。

<http://jaem.or.jp/cpd.html>